



板井原集落訪問&インタビュー 平成 26 年 7 月 23 日 (水)

板井原集落の公民館に於いて、板井原地域おこし協力隊の励波さんの協力の下、智頭農林高等学校ボランティア委員会、鳥取大学地域学部地域教育学科高橋ゼミ合同での聞き書きを行いました。

今回の目的は板井原集落の貴重な文化遺産を保存するために住民からの聞き書きを行い、その一部を今秋オープン予定の「板井原ふるさと館」の展示資料の目玉とするためです。

お願いを込めて、委員長がご挨拶をしているところです。



食事処「火間土」の経営者御夫妻に、大学の先生、鳥取大学生、委員長が聞いています。火間土を始めた当時のことを熱く話されました。10周年目を迎えられ健康で仲のよいご夫婦です。

この方は、集落で最も古い家の当主、集落での自立を考え積極的に行事等に参加されておられます。板井原の歴史をととてもよくご存じの方です。





板井原集落区長のお話  
板井原集落独自の文化について、熱心にお話されておられました。



毎年4月—12月末頃まで  
期間限定生活を集落に移されておられるご夫妻。板井原に熱き思いを語られました。



住民からの聞き取りが  
終わり最後に挨拶をされている区長さん。自分たちの歴史を残したいという強い思いを語られました。



#### メンバー感想

最初緊張しました。板井原の豊かさを支えていた炭焼き。昔、昔の生活。一年でもっとも寒い時期のこと。集落住民一丸助け合い精神、みんな家族。力あわせ困った人あれば自分のことのように解決したこと。又、分校が廃校後、平尾さんご夫婦が智頭町下町に家を建築して子どもたちを引き取り、智頭小学校に通学させていたこと。物の不自由な時代の出来事微笑を浮かべながらおはなしされ、私もいつのまにか緊張がほぐれていました。昔の当時の様子にタイムスリップ。(MT)

板井原集落を訪問し、住民の方に板井原集落の歴史、行事、宇部神社の鍵を預かって



いた理由を質問内容としてインタビューしました。板井原集落は長い間、宇部神社の鍵を明治時代から持っていたこと、昔は、板井原集落には、花籠祭りの他に、多少の行事があったということ、葛がとても貴重だということなど多くのことを学びました。このインタビューを活かし、今秋オープン予定の「板井原ふるさと館」の一部として、素晴らしい展示資料にしたいです。(MN)

私は、板井原集落のメイン産業でもあった「炭焼き」についてお話を伺いました。昭和40年頃までは、約30キロもある炭を背負って町まで下りていたことや白炭の利用価値について学習することができました。また、炭焼きのお話だけでなく昔の生活のことや思い出など貴重なお話を伺うことができました。(HT)

今まで私は板井原の活動を行うと同時に歴史を学ぶ勉強もしてきました。今回の活動はその歴史を学ぶにとってとても重要なことでした。確かに私は活動を行うことで歴史を知ることができました。でもすべての歴史を知ったわけではありません。だから今回の活動は知っていない歴史を学ぶ絶好のチャンスでした。その歴史を資料館の展示に役立てるようがんばります。(KA)

板井原ふるさと館の開館に向けて、展示資料の中で中心的役割を果たす住民の聞き書きに取り組むことができた。お膳立ては地域おこしの協力隊の方をお願いして、住民との間に橋渡しをしていただいた。インタビューについては、生徒たちが事前に質問項目を作り、それに沿った形で行うようにしたが、生徒たちも一人で質問するのが不安だったため、鳥取大学の学生の方にも参加をしていただき、何とか乗り切ることができた。担当者によっては2時間近くまで話がおよんで、大変貴重な記録を得ることができた。今、生徒たちは夏休み返上でテープ起こしに取り組んでいる。

いわばこちらからの押しかけインタビューであったが、住民たちの語りは実に熱いものがあった。その大きな理由は自分たちの生きてきた証を残しておきたい、また他の地域には見られない特異な歴史、文化も記録しておきたいという思いであろうか。このような会への参加呼びかけや、あっという間に集まってしまう昔の写真に、住民たちの思いを感じることができる。これまでもお祭りや炭焼きなどにも参加させてもらってきたが、そのようなイベント参加は一見華やかさはあるが、いつまで続ければよいのかという先を見通せるものがなく、持続可能性が感じられなかった。しかし、資料館に記録を残すという活動は、10年後にはもう残っていないかもしれない貴重な歴史文化遺産を後世に伝えることができるということから、生徒たちにとっても本当の価値を見出すことができるのではないかと考えている。

資料館の開設を10月のお祭りの日と予定しているが、まだまだ取り組まねばならない課題が多く、これからが正念場である。生徒たちの取組は続く。(顧問)